

# 京丹波町の森林・林業の現状

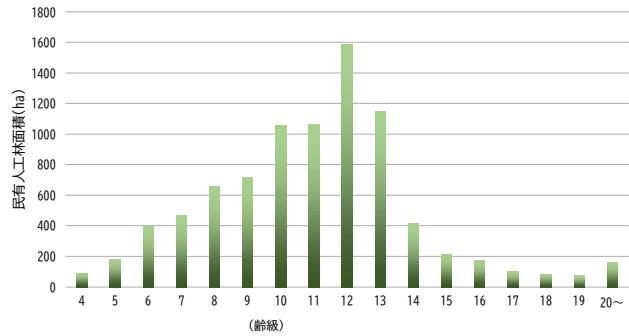
京丹波町は、町面積の約8.2%を占める24,966haの森林面積を有する緑豊かな町です。森林面積のほぼ全てが公有林と私有林を合わせた民有林で構成されており、そのうち、スギ、ヒノキ、マツ等の針葉樹が約6割、広葉樹が4割となっています。

京丹波町の林業は、伐って植えるサイクルが進みつつあり、町内に苗木生産者がいるという強みがあります。また、林業大学校が存在しており、高齢化や担い手不足が続く中、将来的な担

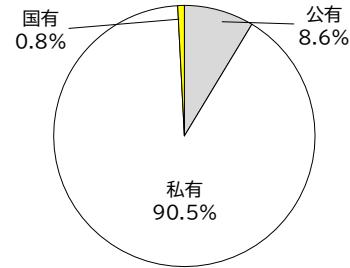
い手の育成も期待がきます。さらに、町内での町産材利用の実績があり、キノコやクリ等の特産林産物の生産が非常に盛んです。

このような森林・林業を取りまく状況において、森林施業の効率化や計画的な森林の管理の推進、林業の担い手確保、獣害対策など、解決すべき課題があります。京丹波町の強みを生かしつつ、課題解決の実現を目指します。

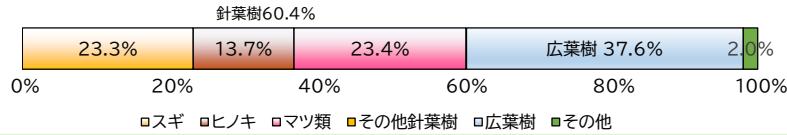
一 民有林 齢級別面積 (単位: ha)



一 所有形態別割合 (単位: %)

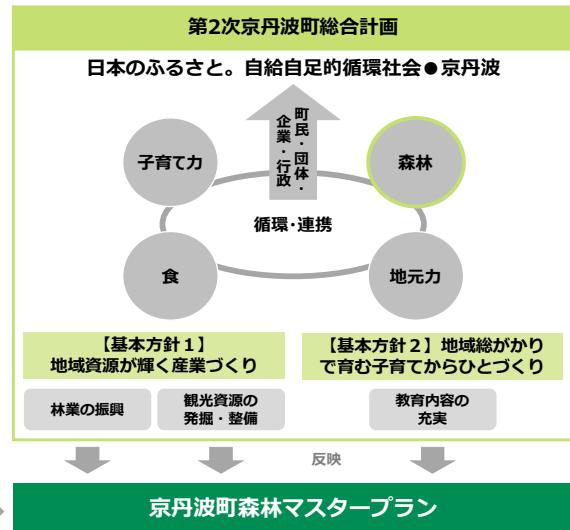


一 民有林 樹種別面積割合 (単位: %)



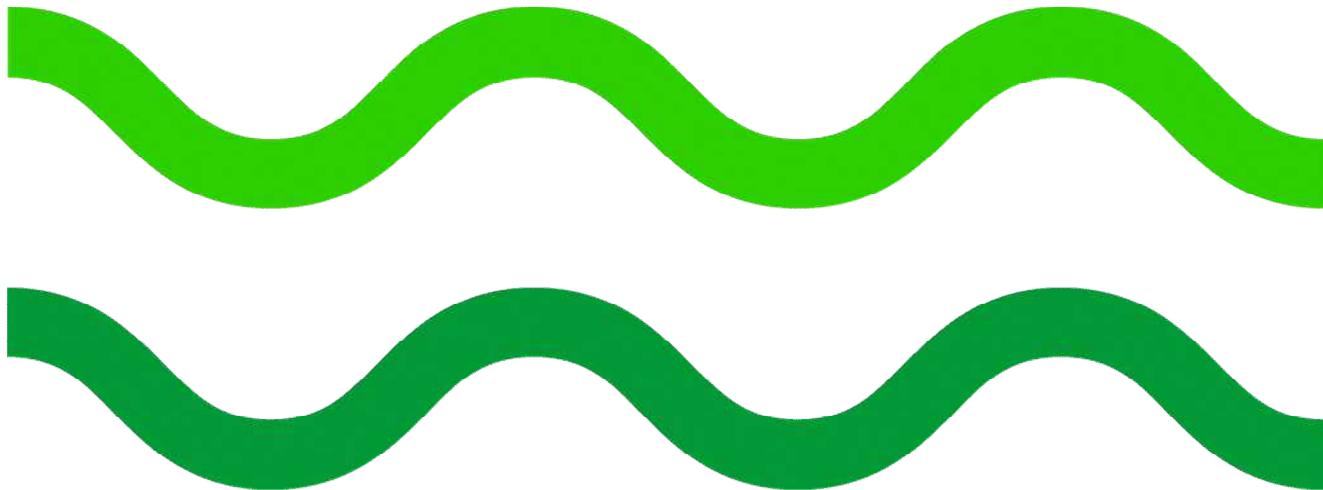
# 京丹波町森づくり計画とマスタープラン

- (1) 計画期間  
計画期間は、令和5（2023）年度から令和14（2032）年度までの10年間と定めます。
- (2) 対象森林  
京丹波町における民有林24,966ha（令和4年京都府林業統計）を対象とします。
- (3) その他の計画との関係性



# 京丹波町 森林マスタープラン

安らぎを与え、豊かな暮らしを支える京丹波の森



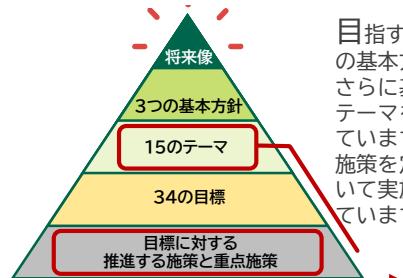
## マスタープランの策定の趣旨

京丹波町の約83%を占める森林は、水源の涵養や町土の保全など、町民の生活に欠くことのできない公益的機能を有しています。しかし、山間地域の過疎化、高齢化等の進行や、林産物の供給などを通じて森林を支えてきた林業及び木材関連産業の低迷により、森林が放置されて荒廃が進むことで、森林の価値が低下するとともに災害発生リスクも高まっています。

このような状況の中、近年は森林環境税、森林経営管理制度の創設等により、地域の森林における地方自治体が担う役割はより重要性が増しています。

京丹波町では森林、林業における課題に対する中長期的な方針を定めた「京丹波町森づくり計画」を平成25年度に策定し、令和4年にかけて様々な取り組みを行いました。今回、これらの「京丹波町森づくり計画」に基づく取組で明らかとなった課題と現在の森林、林業情勢とを踏まえ、新たな中長期的な森づくりの基本方針となる「京丹波町森林マスタープラン」を策定しました。

## マスタープランの全体像



目指すべき将来像とその実現のための3つの基本方針を設定しています。さらに基本方針ごとに様々な観点から15のテーマを設定し、具体的な34の目標を定めています。目標を達成するために推進する施策を定めた上で、その中で特に重点を置いて実施するべきものを「重点施策」としています。

## 15のテーマと18の重点施策

### 森林情報の整備

豊かで健全な森づくりのために、まず必要な情報を整備します

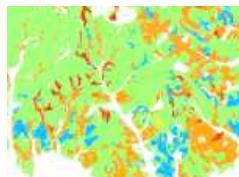
- ◆航空レーザ計測成果の地籍調査への活用
- ◆森林整備情報の共有手法の確立



### 各森林の特性把握

それぞれの森林に適した森づくりを行うために、各森林の特性を把握する必要があります

- ◆観光・カーボンクレジット活用等を踏まえた森林ゾーニングの再設定
- ◆広葉樹育成林の試験整備の実施



### 路網整備

森づくりのインフラとして、適切な路網を開設し維持管理する必要があります

- ◆補修の必要性と優先度を整理した路網補修計画の作成



### 皆伐・再造林

持続可能な森林を作るために、伐って植えるサイクルを回します

- ◆低コスト再造林の普及



### 手入れ不足林の管理

適切に手入れを行うことで、豊かで健全な森を持続させます

- ◆針広混交林化に向けた試験施業の実施



### 病虫害対策

再造林した林を育成し、健全な森林を維持するため、虫害・獣害に適切に対処します

- ◆獣害の被害状況とシカ等の生息密度の把握



### 災害対策

災害の発生リスクを低減します

- ◆地形情報を活用した路網線形の検討



豊かで健全な森づくり

### 担い手

経営態勢の中心である担い手を確保し、次世代へ続くよう育成します

- ◆教育フィールドとしての町有林の活用
- ◆生産性分析を通じた効率的な施業方法の検討



### 労働環境の改善

森林林業での労働環境を安全に保ちます

- ◆森林施業における安全大会の実施



### 関係者間の情報共有

森林林業の関係者間で情報を共有することで町の森林全体の最適化に向けた取り組みを行います

- ◆森林林業の関係者における協議会の設立
- ◆協議会コーディネーターの設定



### 森林所有者啓発

森林所有者の皆様が森林・林業に関心をもつことで森林の適切な管理を促進します

- ◆森林所有者向けの環境教育・セミナーの実施



次世代へ続く経営態勢づくり

木づかいの文化づくり



### 木材利活用

森林の価値を高めるために、木材を安定供給と木材の付加価値を高めます

- ◆web入札システムを活用した木材販売の実践



### 特用林産活用

森林から得られる貴重な資源を有効に活用します



### 森林の多目的利用

森林管理の推進や山村地域振興のために森林空間そのものを活用します

- ◆環境教育の普及展開
- ◆森づくりと連携した景観整備



### 森林吸収源活用

カーボンクレジットにより森林の価値を向上します

- ◆J-クレジットの創出・発行

